

整理番号 2020P-070

補助事業名 2020年度 国際交流の推進活動 補助事業

補助事業者名 (公財) 中近東文化センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

日本人による古代オリエント史の「年表(文化編年)」の再構築を目指し、自らの「年表」により歴史を語ることを一つの目的とする。併行して出土遺物、遺構の保存、修復、つまり「文化財保存」に重点を置く。そして日本、トルコ、欧米の次世代を担う若手研究者を養成し、各国の若者が世界に目を向ける契機となることをもって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

[アナトリア考古学研究所HP](#) [考古学フィールドコース説明会](#)



当該シーズンは、主にこれまでに出土した資料の再調査、収蔵庫の修繕及び収蔵品整理、遺跡のクリーニングや遺物、遺構の実測図作成などを中心に作業しつつ、今後の現場を担う現地若手作業員の養成を目指した。さらに隣接するカマン・カレホユック考古学博物館の学芸員の博物館案内、解説のトレーニングにも力を入れている。

世界的にはコロナ禍はまだまだ収束とは言えない状況にあり、国際情勢も不安定な昨今ではあるが、このような時勢こそ現地での活動を継続し、地元との交流、地元への還元が必要であると考え。長年現地の人々と築き上げてきた信頼関係、現地の人々の協力を無駄にすることなく、現地との交流に努めたい。

2 予想される事業実施効果

現在、トルコ各地の地方博物館では、当研究所主催の博物館学フィールドコースを受講した学芸員や保存修復専門家が活躍しており、博物館の展示技術や遺物の保存技術の向

上を実現させている。実際に現場で作業をしていたトルコ人学生も博物館学芸員として就職、活躍しており、トルコの博物館行政に良い影響を与え始めていると実感する。この傾向は今後も続くものと考えている。

コロナ禍で海外に出られなかった日本や欧米の研究者や学生たちは、今後ますます現地での調査・研究、学習体験を希望することが予想される。研究所の活動はトルコ国内外で益々必要とされ、国際交流の拠点としての重要性が増すものと考えている。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

該当なし

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの

該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人 中近東文化センター

(コウエキザイダンハウジン チュウキントウブンカセンター)

住 所： 〒181-0015

東京都三鷹市大沢3-10-31

代 表 者： 理事長 大村幸弘 (オオムラ サチヒロ)

担 当 部 署： アナトリア考古学研究所 (アナトリアコウコガクケンキュウジョ)

担 当 者 名： 事務担当 吉田 知子 (ヨシダ トモコ)

電 話 番 号： 042-32-7665

F A X： 042-31-9453

E - m a i l： tokyo@jiaa-kaman.org

U R L： <http://www.jiaa-kaman.org/>